学校法人ISI学園　専門学校東京ビジネス外語カレッジ
2024　シラバス

1．本授業科目の基本情報			
科目名（コード）	マクロ経済学II		(TGB155)
講義名（コード）	TGB155_マクロ経済学II		(TGB155)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	忍足祐之	時間数	15
成績評価教員	忍足祐之	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	選択必修
実務者教員特記欄	本講義は、実務者教員による授業である。	授業形態	講義・質疑応答

2．本授業科目の概要	
到達目標・目的	①経済学(けいざいがく)を身近(みじか)なことから考え(かんがえ)、社会人(しゃかいじん)/進学のいずれにも必要(ひつよう)な知識(ちしき)を体系的(たいけいてき)に習得(しゅうとく)する　Learn necessary knowledge about economics by thinking about the study as a daily-life issue. ②経済(けいざい)の動き(うごき)がビジネスや自分(じぶん)の生活(せいかつ)にどう影響(えいきょう)するかを理解(りかい)する　Understand how economy affects your business and life.
全体の内容と概要	毎回(まいかい)双方向(そうほうこう)の質疑(しつぎ)応答(おうとう)と生活(せいかつ)の中(なか)での具体例(ぐたいれい)を挙げながら(あげながら)進める(すすめる)　Conduct each class through mutual Q&A, raising daily-life example.
授業時間外の学修	アルバイトや生活(せいかつ)の中(なか)で、経済(けいざい)の問題(もんだい)を常に(つねに)考え(かんがえ)る　Always think about economics issues in your side-business and daily life.
履修上の注意事項等	・分からないことは完全(かんぜん)に分かる(わかる)まで質問(しつもん)する　Should ask questions until you understand them completely enough to answer the similar questions raised by others

3．本授業科目の評価方法・基準				
評価前提条件				
評価基準	知識（期末試験点） 60%		自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数		出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容	
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。	
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。	
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。	
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。	
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。	
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

４．本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	前期の内容（ぜんきのないよう）を理解する　Understand what you learned in 1st term	前期の復習。Review what you have learned in 1st termマクロ経済とミクロ経済の違いを理解する。Understand the difference between macro/micro economics.
2	経済的合理性（けいざいてきごうりせい）を理解する Understand economical reasonability	経済的(けいざいてき)判断(はんだん)とは何か？　What is an economical judgement?
3	グローバル時代の経済を理解する Understand economy in the global ear	一国の経済が他国に与える影響（えいきょう）The effect of an economy of a company on other country
4	消費と生産の関係(しょうひとせんさんのかんけい）を理解する Understand the relationship between consumption/production	消費が増えれば生産も増えるか？Is consumption co-related with production?□ □ □
5	イノベーションとは何か？ What is innovation?	イノベーションは発明（はつめい）でではない　Innovation is not necessarily an invention
6	経済ニュース用語を理解する Understand economy-related terminology	GDP, 金融(きんゆう)政策(せいさく)Financial policy、金利(きんり)interest・・・・
7	ＧＤＰを理解する　Understand GDP	GDPは何を表すか？　What does GDP represent?
8	国債と社債(こくさいとしゃさい）を理解する	借金（しゃっきん）とは何か？　What is a debt?
9	資産・負債・資本（しさん・ふさい・しほん）の関係を理解する Understand the relation among asset, liability, and capital	資産・負債・資本とは皆さんにとって何か？　What are asset, liability, and capital for your lives?
10	経済史(けいざいし）を学ぶ Leran economic history	経済の歴史を学ぶのはなぜ必要か？　Why do we have to learn economic history?
11	為替(かわせ)市場(しじょう)を理解する　Understand foreign currency market	円高・円安(えんだか・えんやす）はどうやって起こるか？　How is ¥ appreciation/depreciation developed?
12	インフレとデフレを理解する Understand inflation/deflation	インフレ・デフレはなぜ起きるか？　Why does inflation/deflation occur?
13	今後の世界経済を予測（よそく）する　Forecast global economy in the future	今後の世界経済はどうなるか？　What will be a world economy in the future?
14	後期試験（こうきしけん）2nd term exam.	
15	後期試験の講評（こうひょう） Remarks on ↑	

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	経済学見るだけノート
参考文献・資料等	新聞記事等（しんぶんきじとう）をその都度（つど）準備（じゅんび）する　Prepare economics-related articles as required
備考	・本教員は、外資系企業にて、営業や人事その他の業務を歴任した。その経験を活かして、企業コンサルタント、学校等の高等教育機関にて指導を展開している。